

## 連合町内会長との意見交換 開催結果 【10区まとめ】

### 【開催概要】

- 開催時期 平成24年7～9月
- 開催方法 各区連合町内会長会議に出席又は意見交換の場を設定
- 参加者 連合町内会長102名（10区合計、代理出席含む）
- 開催内容 市（市長政策室計画担当課長）からまちづくり戦略ビジョン概要及び重点戦略の概要について説明の後、意見交換

### 発言要旨

#### ① 市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり

独居高齢者（特に引きこもりがちな高齢者）への対応が難しい  
 「支え合い・助け合い」は町内会、町連が中心にやるべき  
 孤立死防止には行政の具体的方策、バックアップが必要  
 外郭団体（民生委員、警察・交番、福祉事業団関係等）との連携が必要  
 社協、福まちとの関係をどうするか  
 民生委員と地域協力員の情報共有が必要  
 小さな町内会でも1人は民生委員を配置してほしい  
 見守り活動における個人情報の問題をどうするか  
 見守りの展開方法は地域別の個性があっていい  
 世帯数を地域ごとにつかむ必要がある  
 マンションの高齢化への対応が必要

#### ③ 災害に備えた地域防災体制づくり

日本における災害時の役割、北海道全体での連携  
 雪は災害であることを踏まえ、ご近所の協力が必要と前面に出すべき  
 除排雪の町内会負担が大きい  
 災害発生時の学校の対応（学校サイドとの連携の必要性）  
 学校における備蓄状況、避難場所の設備をPRしてほしい  
 避難場所の耐震化

#### ④ 歩いて暮らせるまちづくり

スーパー出店時には、安易に撤退しないよう指導してほしい  
 個人商店は大変、行政の支援が必要

#### ⑤ 地域で共生する環境づくり

アパート、市営住宅に高齢世帯と若年世帯をバランスよく入居させ、多世代交流を進めることが必要  
 65歳以上を老人と捉えることの見直し、行事の対象年齢引き上げ  
 元気高齢者の活躍の場、地域活動への参画が必要  
 高齢者が多いことで何かいいことあるんじゃないか。お互いに考えたい。  
 団塊世代の町内会活動への参加促進

#### ⑥ 子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり

子ども、学校が地域と関わる意識を持つことが必要  
 地域で子どもが悪いことをしたら怒る大人が必要  
 子ども会の充実（行政で支援を）  
 小学校の学校統合、通学区域変更をやってほしい  
 町内会行事に若い世代の参加を促進することが必要  
 若い人とベテランの交流セッションが必要

#### ⑦ 地域マネジメントの推進

区長に予算の権限を付与してはどうか？（その都度本庁に伺いをたてなければならない）  
 区の特徴を精査し、区が独自に動かせる特徴的な予算配分をしてほしい（津波、積雪）  
 市が号令を出すのは一律基準、区によって弾力性があってもいいのではないか  
 市・区の職員が実際にどう動くのか、「我々も頑張るよ」というのを見せてほしい

## 発言要旨

### ⑦ 地域マネジメントの推進

札幌はエリアごと、区ごとの特色がないが、将来は特色を持たせることも必要  
地域単位の統計資料が必要  
老朽化し改築が必要なまちセンもある  
まちセン職員がある程度の裁量をもって地域が抱える問題を処理すべき  
まちセンの役割として「人づくり」をやるべき  
まちセンは自主運営ではなく、柔軟な発想ができる若い所長にやってほしい(地域支援、バックアップの役割)

### ⑧ 地域活動を活発化する環境づくり

町内会の加入促進を強力に進めてほしい  
町内会加入について、法、条例の整備、義務付けも必要  
官公庁勤務者の町内会加入が少ない、行政からの呼びかけも必要  
(ビジョンで)もっと町内会という言葉を使ってほしい  
行政からの依頼事項が地域の負担になっている  
地域特性(地域格差)を踏まえた町内会のあり方を考えるべき  
異業種団体との交流、町内会と他団体の連携  
単位町内会の再編を(戸数がバラバラ)  
複数の町内会の連携、小集団化が必要  
町内会に大幅な権限を与え、加入のメリットがわかるようにすべき  
老人クラブと福まちをどうつなぐかが課題  
地域活動拠点として学校の空き教室を活用したい  
地域における活動場所の確保が一番重要、どこもお金がかかるので大変  
有料の会場を利用する際に助成してほしい  
一般世代が集まり情報交換できるようなサロンが必要  
町内会役員のなり手がいない、人づくりをどうするかが大きな課題  
自治連役員の高齢化、他の世代が入ってこない、将来、立ち行かなくなる  
マンション群における人づくりが難しい、人材をどう発掘するかが課題

### ビジョン全般

10年後のあるべき姿が見えるようにしてほしい  
地域、現場の意見を吸い上げてほしい  
この目標は10年前と変わらない、この目標では限界、抜本的にやり直してほしい  
地域にこうしてほしいということを知りやすく言ってほしい  
地域と行政の役割をわかりやすく明確にほしい  
個々に現状認識と対応方策が必要  
ワールドカフェなど市民の意見を実現できる方向にもっていかないといけない  
10年は長い、2年後・4年後などの細かい目標が必要  
現場で活動している人たちがやりがいを感じることを考えてほしい  
「戦略」という言葉を「行動指針」のような言葉にできないか  
各区・地域ごとの特性、現状分析をした上で、まちづくりの方向性があってほしい  
住民の定着度合いの違いを踏まえた考え方を盛り込んだらいい

### その他

札幌に工業団地があれば若い労働者が増え、子どもが増えるのでいい  
コンパクトシティは緩やかにやるべき  
過疎地になったときの対策として道内各地のサンプル、モデルを研究してほしい  
バス代は高く、スーパーもなく一番住みにくい街ということを加味してほしい  
これからは都市力をどのようにつけていくか